



# EXPO 2005 EXPO NEWS だより

第6号

1999年(平成11年)10月15日号

Vol. 6

## 自然と人間のコミュニケーションを 創造する博覧会

### 会場基本計画の検討状況

博覧会協会では、これまでに公表した会場基本計画に対する多くのご意見と、さらに様々な環境への配慮などを踏まえ、会場計画の検討を行ってきました。今回、オオタカの営業確認を一つの契機として、これまでの会場候補地約五四〇haに、愛知青少年公園約二〇〇ha、科学技術交流センター約二〇〇haを加えた「会場基本計画の検討状況」を公表しました。

**2005年日本国際博覧会**  
会場候補地(検討中)  
愛知県瀬戸市南東部  
および隣接地  
開催期間  
2005年3月25日～9月25日

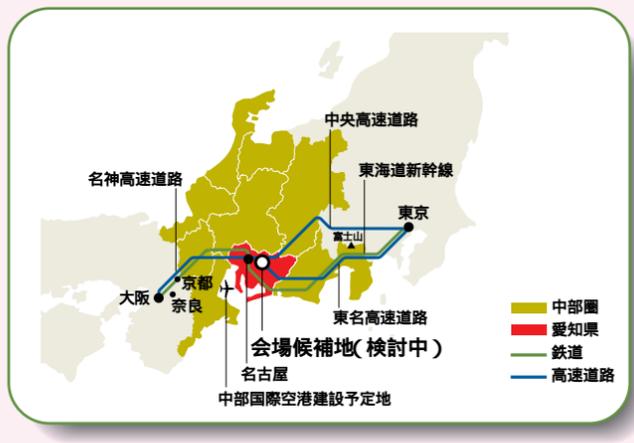
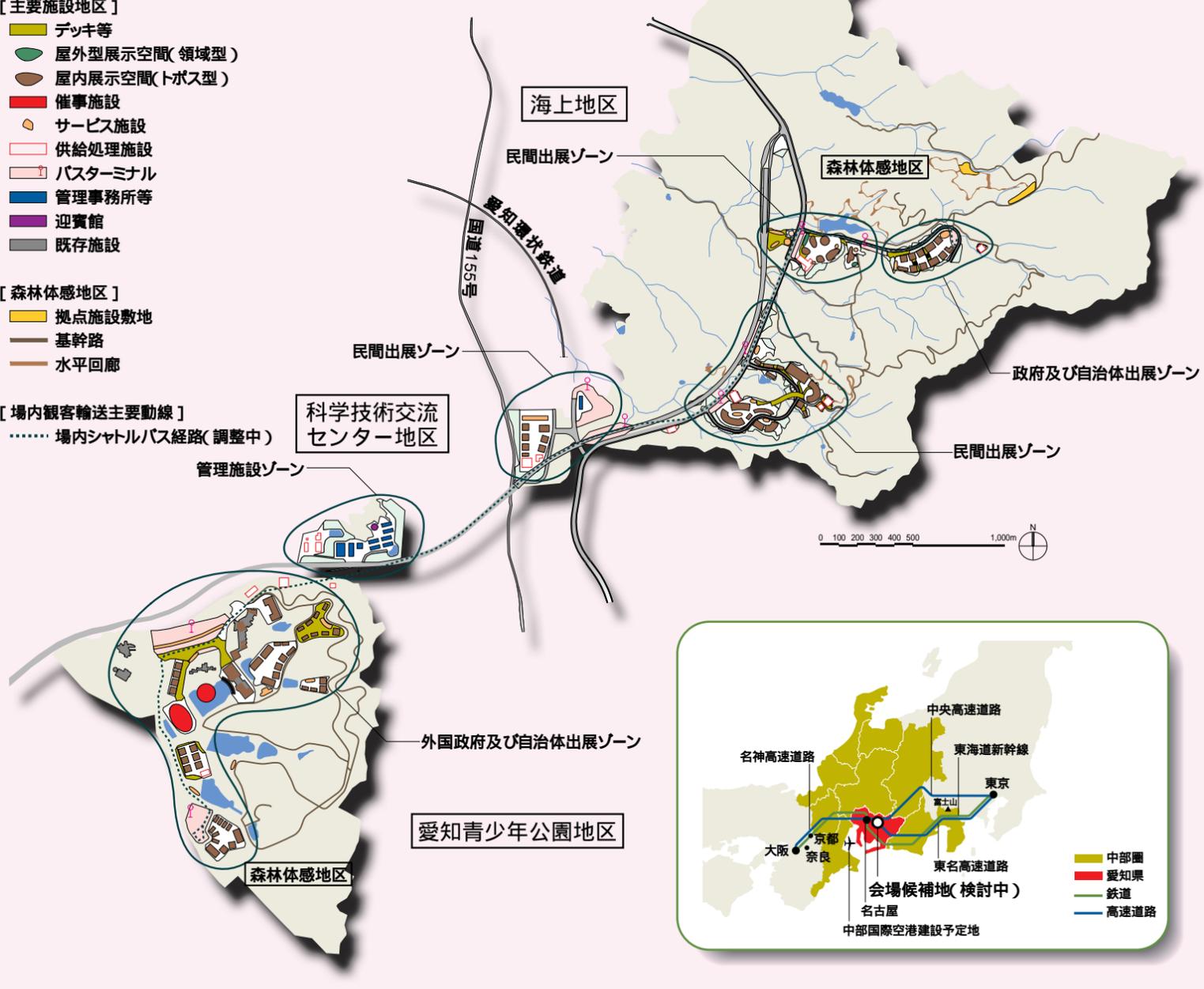
- 開催までの主なスケジュール
- 1999年 会場計画の策定
- 2000年 博覧会国際事務局への登録  
会場実施設計着手
- 2002年 会場建設工事着手
- 2005年開催

#### ●会場基本計画検討状況 グランドレベル (1999年9月公表)

- [主要施設地区]
- デッキ等
- 屋外型展示空間(領域型)
- 屋内展示空間(トバス型)
- 催事施設
- サービス施設
- 供給処理施設
- バスターミナル
- 管理事務所等
- 迎賓館
- 既存施設

- [森林体感地区]
- 拠点施設敷地
- 基幹路
- 水平回廊

- [場内観客輸送主要動線]
- 場内シャトルバス経路(調整中)



愛知青少年公園の活用を加えた会場計画を検討

会場計画の検討においては、かねてから二五〇万人の入場者を想定する2005年日本国際博覧会の会場として、瀬戸市南東部(約五四〇ha)の地域だけでは、環境への負荷が大きいのでは、という議論がありました。

今年五月には、会場候補地内において、オオタカの営業が確認されました。博覧会協会ではこれを一つの契機として、会場許容量について検討に取りました。

愛知県知事が県議会において「国や博覧会協会に、愛知青少年公園等を会場地として活用することを検討していただきたい」と旨を明らかにされたことを受け、通商産業省の指示により、拡大した会場の検討を始めました。

そして、博覧会の全体的方向性などを検討する「企画調整会議」を七月十四日に開催し、愛知青少年公園を含めた会場計画の「方向性」について、企画運営委員の方々からご意見をいただきました。

その結果、海上北地区(地区名称は仮称。以下同

じ)は、「自然の観智」を象徴する「シンボルゾーン」、海上南・西地区は、民間出展を中心とした「テーマゾーン」。愛知青少年公園地区は、外国政府出展を中心とした「エデュテインメントゾーン」、科学技術交流センター地区は、博覧会のバックアップ機能の施設を置いた「管理ゾーン」の四つのゾーンの考え方が示されたのです。

この「四つのゾーン」の考え方を受け、環境、会場計画、観客輸送の各プロジェクトチームにおいて、検討を進めてまいりました。

九月九日に開催された「企画調整会議」では、各プロジェクトチームによる検討状況が報告され、様々な意見が交換されました。

会場の施設配置の考え方、各地区の考え方、会場アクセスについての考え方など、現在進められている会場計画の検討状況を、2面に詳しく掲載しましたので、ご覧下さい。

また、「肝心の博覧会の内容が見えてこない」というご意見に配慮するために、「博覧会のアイデア」も、公表しました(3面詳細)。

エデュテインメント、「エデュケーション」(学ぶこと)と「エンターテインメント」(遊ぶこと)を組み合わせたもの。

# 拡大した会場計画の検討状況を紹介します

これまでの会場候補地に、新たに愛知青少年公園と科学技術交流センターを加えた広大なエリアで会場を検討することとなりました。以下、会場施設配置計画、観客輸送計画、供給処理計画について、順に「説明します。

## 会場施設配置計画

### 施設配置の考え方

これまでデッキを多用した高密度利用のトボス型建築を提案してきましたが、青少年公園等に会場候補地が広がったことで、より低密度で簡素なトボス型建築を中心とする施設構成が可能になります。さらに、「自然の観智」の理念を体現する、自然の中に開かれた領域型展示空間(屋外型展示空間)の多様な展開が可能となりました。

## 観客輸送計画

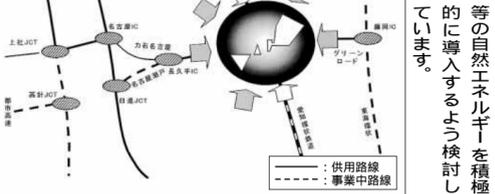
### 会場内動線の考え方

会場候補地は、海上地区、青少年公園地区及び科学技術交流センター地区の各地区の考え方は、別表のとおりです。

海上北地区	・恒久施設につながる政府及び自治体出展ゾーン(東側) ・民間出展ゾーン(西側) ・高密度な利用は避け、特に博覧会のテーマに沿った展示施設を森へ入る手段として水平回廊や里山トレイルの導入を検討
海上南・西地区	・民間の出展を誘導するゾーン ・博覧会にぎわいの中心的位置づけ ・森へ入る手段として水平回廊や里山トレイルの導入を検討
青少年公園地区	・屋外の運動施設用地を活用 ・外国政府や国際機関、自治体の出展を誘導するゾーン ・博覧会にぎわいの中心的位置づけ ・森林体感にはぎわいの中心的位置づけ ・博覧会事務局の本部やプレスセンター、警備、消防、迎賓館など管理施設を配置
科学技術交流センター地区	

また、混雑日の混乱をなるべく回避するため、毎日の入場者の平準化、さらには会場内の円滑な回遊方策等を検討していきます。中距離移動には動く歩道等を設置する他、お年寄りや障害のある方のための移動空間の確保も検討しています。

さらに、円滑な道路交通に不可欠な、道路情報システム誘導システム等の導入を検討していきます。



## 供給処理計画

### 供給処理の考え方

緊急車両の通行については、工用に作った道路の利用も含めた総合的な検討をします。最終処理量の最小化、水の循環利用の観点から検討を進めます。

また、会場内にはバスストップの設置を検討しています。海上北地区、海上南・西地区、青少年公園地区及び科学技術交流センター地区の各地区の考え方は、別表のとおりです。

また、会場内にはバスストップの設置を検討しています。海上北地区、海上南・西地区、青少年公園地区及び科学技術交流センター地区の各地区の考え方は、別表のとおりです。

# イメージの参考に博覧会のアイディアをご紹介します

会場において具体的にどのようなことが展開されるのか、今後実際に博覧会を構成していくことになる諸外国、企業、市民グループなど多くの参加者に一つのイメージを示すために、博覧会のアイディアを公表しました。そのアイディアの中の三つをご紹介します。

## アイディアその一

### 「四十億年の生命の観智」

最も身近な自然、それは私たち自身の身体であり私たちが自身の記憶です。私たちはおなかの中に十ヶ月いてこの世の中に生まれてきました。しかし実は十月間ばかりではありません。人間はおなかの中で四十億年の生命の観智を経験し、そしてはじめておなかの外の世界を見るのです。おなかの中で始めは暗さを持った状態、感じただけです。やがて瞳を持ちます。しかしそれは人間の瞳ではありません。海の中です。やがて陸に上がります。まだ人間ではありません。大地が揺れるようなパノラマが広がります。

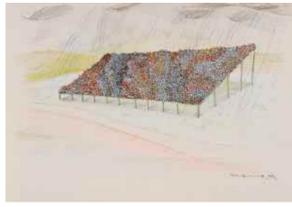


地球にアルプスが生まれる。おなかの中でそんなことまで経験しているのです。瞳がだんだん変わってきます。次第に私たちがよく知っている動物の瞳の世界が見えてきます。とかげの瞳? いや、ライオンの瞳? 近づいてきます。自分が人間としてこの世界に生まれてくる日が、もはやわかるはず。私たちはおなかの中で四十億年の生命の観智を経験し、そしてはじめて世界の光を見たことを、テーマソン「四十億年の生命の観智」ではこのようにパノラマが広がります。

## アイディアその二

### 「雨音で音楽を奏でる大幕」

「海上の森」会場をさらに進むと、奇妙な光を放つ巨大なテントがいくつも立ち並んでいるのに出会うでしょう。これらのテントが威力を發揮するのは、なんと万博の敵ともいへば雨の日のことです。そう、これらのテントは雨音で音楽を奏でる大幕なのです。自然は元々さまざまなレベルの複雑な音楽を奏でる巨匠の「振動する場所」なのです。この大幕の下では自然に包まれて雨の日ならではの楽しい催しをご用意されます。そして自然と人間の芸術活動が融和したひとつの姿を感じることになります。



## アイディアその三

### 「自然の魔術師たちの美術館」

こうして、「海上の森」会場の中のシンボルゾーン、ようやく私たちはたどり着くことになりました。このあたり一帯はまさにこの万博の「聖地」ともいへば場所です。現代の人類が失ってしまったように見える能力、記憶、観智のかけら、そういったものがこの場所でもういちど息を吹き返して、未来の創造のために、豊かな力を与えてくれるようにしています。科学はこのような場所に触れることにより、ほんとうの意味での21世紀の科学としての誕生を果たすことができるでしょう。技術は、このような空間の息吹に触れることにより、人類の秘められた全能力を開花させる、ほんもの技(テクノロジー)へと変貌を遂げることができるでしょう。それを現実に造り上げるか、そのプロセスを通じて二十一世紀の社会を支える市民、企業の姿が示されるでしょう。



生ゴミは、資源化して有効に活用することを目指しています。そのためのコンポスト設備は、発生源の近くで効率的な処理を行うこととを前提として、各エリアへの分散配置を検討しています。

また、会場内にはバスストップの設置を検討しています。海上北地区、海上南・西地区、青少年公園地区及び科学技術交流センター地区の各地区の考え方は、別表のとおりです。

## EXPO2005

### 「EXPOポスター」を150名様にプレゼント!

博覧会協会は、開業二〇〇〇日前、を機に、協会設立以来初めてのオリジナルポスターを制作しました。このポスターは、全部で八種類あり、当協会のデザイン専門委員会によって選ばれた三人のデザイナーによって制作され、いずれもEXPO2005のテーマである、新しい地球創造、自然の観智を表現しています。(写真参照)

グラフィックデザイナーの原研哉氏による作品は、「全国カレンダー展」で内閣総理大臣賞を受賞した平成十一年版カレンダーや、パンフレットでも使用した江戸時代の図鑑「本草図説」(高木春山作、愛知県西尾市岩瀬文庫所蔵)に収録されている動植物をあしらった迫力あるもので、全部で六種類(B全判、B倍判各三種類)あり、伊藤豊嗣氏(103cm x 73cm)五種類を各三十枚、合計百五十名の方にプレゼントします。

そこに集まる水をエネルギーとして飛び立とうとする人間の姿を表現したものと、伊藤豊嗣氏の作品(B全判)は、一本の木は様々な生き物によって構成され、また人間と動植物の共存の姿であるとし、この木が成長し、EXPO2005の森になるとしています。今回、制作を記念して縦長のB全判ポスター(103cm x 73cm)五種類を各三十枚、合計百五十名の方にプレゼントします。

応募方法  
官製ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望のポスター(一種類のみ)、博覧会期待するところ、を記入し、〒450-0002 名古屋市中村区名駅三十五-1 名古屋ダイヤルズイニング二階(財)2005年日本国際博覧会協会「ポスター」係、まで。なお、切は十一月(月)当日消印有効です。当選は発送をもって代えさせていただきます。

審査委員  
伊藤俊治(多摩美術大学教授、岡本滋夫(名古屋造形芸術大学教授、河原敏文(コンピュータグラフィックデザイナー)、隈研吉(建築家、黒田真(博覧会協会事務総長、佐藤晃一(グラフィックデザイナー)、中沢新一(中央大学総合政策学部教授、山本谷子(版画家) 指名デザイナー  
青木克憲(アートディレクター)、伊藤豊嗣(グラフィックデザイナー)、大貫卓也(アートディレクター)、蔡國強(現代美術家、中国) 原研哉(グラフィックデザイナー)、日比野克彦(アーティスト)、フジヤマ、アベローケ(グラフィックデザイナー)、伊園(前田ヨシノブ)グラフィックデザイナー、米園(森万里子、現代美術家、山内麟葉(グラフィックデザイナー)

測定、建築関係建設コンサルタント業務、土木関係建設コンサルタント業務、地質調査業務、補償関係コンサルタント業務  
二集中受付期間  
平成十一年十一月一日(水)から平成十一年十一月三日(木)まで(なお、申請にはID及びパスワードをあらかじめ取得する必要があります)。  
I Dなどの取得や申請についての詳しいことは、当協会ホームページをご覧になるか、または財務グループ契約チームまでお問い合わせください(TEL 052-569-2079)。

建設コンサルタント等の契約に係る競争入札参加希望者の募集について  
博覧会協会は、国際博覧会の会場建設等を行う際、公平で客観的かつ競争性の高い調達方法等によることを求めています。  
これにともない、建設コンサルタント等の契約に係る一般競争入札及び指名競争入札等の参加希望者をインターネットの当協会ホームページで募集し、資格審査を行います。申請受付時期、方法等については次のとおりです。  
資格審査申請ができる契約の区分及び種類

## EXPO2005だより

### EXPO2005だより 地元せもの祭も盛り上がり

九月十二日・十三日に、会場候補地である瀬戸市において、皆さんも存じの第六十八回せもの祭が開催されました。一時雨に降られましたが、おおむね好天に恵まれ、日

博覧会協会は、緑と水の森林基金の助成を受け、九月十日に瀬戸市定光寺野宮場帯において、「緑とふれあふ里山フェスティバル」を地元瀬戸市民団体が組織される実行委員会に委託し、開催しました。当日は台風の近づく悪天候にもかかわらず約百人の方が参加し、「POPを使用した登り体験」、「森の保護と有効利用を考える里山体験」そして、「はるの里の

環境整備とほたるの幼虫の放流体験」の三つのコースに分かれて里山での遊び方を学び、里山の楽しさを十分満喫されました。

博覧会協会は、国際博覧会の会場建設等を行う際、公平で客観的かつ競争性の高い調達方法等によることを求めています。これにともない、建設コンサルタント等の契約に係る一般競争入札及び指名競争入札等の参加希望者をインターネットの当協会ホームページで募集し、資格審査を行います。申請受付時期、方法等については次のとおりです。資格審査申請ができる契約の区分及び種類

測定、建築関係建設コンサルタント業務、土木関係建設コンサルタント業務、地質調査業務、補償関係コンサルタント業務  
二集中受付期間  
平成十一年十一月一日(水)から平成十一年十一月三日(木)まで(なお、申請にはID及びパスワードをあらかじめ取得する必要があります)。  
I Dなどの取得や申請についての詳しいことは、当協会ホームページをご覧になるか、または財務グループ契約チームまでお問い合わせください(TEL 052-569-2079)。

「シンボルマーク制定に向けていよいよ始動」  
博覧会協会は、EXPO2005のシンボルマークを制定するため、「国際指名コンペティション」を実施することとし、去る九月二十一日、有識者九名による「第一回審査委員会」を開催しました。  
シンボルマークは博覧会の理念を象徴的に表現する最も重要なものといえますが、新世紀に相応しい質の高いマークを制定するため、今回、日本における国際博覧会を実施することになったことを契機として、国際指名を実施することになったのです。

海外デザイナー三名を含む十名の気鋭のデザイナーの指名が決定し、今後二回の審査委員会と、先に実施した「公開セッション」参加者を対象にした市民投票によって選考を進めます。  
最終的には来年三月の当協会の理事会の承認を経てマークが発されることとなります。審査委員と指名デザイナーは以下の通りです。(五十音順、敬称略)  
審査委員長 永井一正(日本グラフィックデザイナー協会会長)

「パンパク探検隊」を創刊  
博覧会協会は、子供向け広報誌「パンパク探検隊」を創刊しました。国際博覧会に関する話題、エピソードなどを、イラスト、写真を交えて、わかりやすく紹介しています。子供たちにどまらず、大人の方も楽しみたい行事です。イベント会場等でお配りするほか、ご希望の学校関係者の方々にもお配りします。当面、隔日で発行予定です。

里山フェスティバルが開催されました  
博覧会協会は、緑と水の森林基金の助成を受け、九月十日に瀬戸市定光寺野宮場帯において、「緑とふれあふ里山フェスティバル」を地元瀬戸市民団体が組織される実行委員会に委託し、開催しました。当日は台風の近づく悪天候にもかかわらず約百人の方が参加し、「POPを使用した登り体験」、「森の保護と有効利用を考える里山体験」そして、「はるの里の

木工教室で枯れ木を使ってパチンコを作る参加者

有識者9名による「第1回審査委員会」を開催

# 国際アイデアコンペ入賞者決定

博覧会協会では「森の博覧会のアイデア」をテーマとした国際アイデアコンペを行い、1955件の応募がありました。このほど、厳正なる審査の結果、最優秀賞をはじめとする入賞作品22点が決定しました。今回の「EXPO2005だより第6号」では、最優秀賞、優秀賞の8点をご紹介します。次号以降のEXPOだよりで佳作14点をご紹介します予定。なお、本文中の作品概要は、応募者によって作成された作品概要の抜粋です。

## 15歳以下の部 最優秀賞



『森のブランコゆらゆら音楽会』  
越智藍子さん  
(品川区立第一日野小学校)

でこぼこの地面には、椅子を並べにくい。それに森にこだまする音楽は、そよ風に乗って、ふわふわしている。だから森の音楽会は、背もたれのあるブランコを木々の枝に吊し、それを座席にする。演奏者の姿を見るのではなく、葉がしげる空を見上げ、森の深さを感じながら聴く。自然に向かって演奏する舞台は小さく目立たない。



『イモムシロボット』  
小西聖子さん  
(知多市立八幡中学校)

この作品は、自分が虫になり、虫から見た“自然”“世の中”“未来”“過去”を体験し、虫の生活を体験するものです。人間は、人間の世界しか見えないから、動物や虫、植物の世界を見る必要があるのです。それが、遊びながらできたら、どんなにいいことでしょう。この作品は、万博に参加し、学ぶことのできる作品です。

## 審査結果一覧 <賞ごとに作者名(グループ名)の50音順で表記>

【15歳以下の部】

	作品名	作者	住所	学校名等
最優秀賞	森のブランコゆらゆら音楽会	越智藍子	東京都品川区	品川区立第一日野小学校
最優秀賞	イモムシロボット	小西聖子	愛知県知多市	知多市立八幡中学校
優秀賞	2005年万博メモリアルウエディング	猪飼理江	愛知県津島市	津島市立天王中学校
優秀賞	森の映画館	鬼頭麻衣子	愛知県豊田市	豊田市立保見中学校
優秀賞	森と話そう!	和田愛弓	愛知県豊田市	豊田市立朝日丘中学校
佳作	本当の星空見たことありますか	石川綾子	愛知県半田市	半田市立青山中学校
佳作	A trip keeping in touch the green of trees 木々の緑に触れる旅	伊藤芳恵	愛知県知多市	知多市立八幡中学校
佳作	タイムマシーンにのって、もりでいさをたてよう	杉山みのり	東京都世田谷区	星美学園小学校
佳作	新型植物園	中島崇志	愛知県知多市	知多市立八幡中学校

【一般の部】

	作品名	作者	住所	職業等
優秀賞	TEMPLE OF ELEMENTS (自然力の寺院)	VISHAL DAR (ヴィシャル・ダール)	インドニューデリー市	学生
優秀賞	オニゴッコ	萩原裕一	神奈川県川崎市	会社員
優秀賞	同時多発的博覧会	ブルース・ボンチ 志賀壮史(代表)池1名	福岡県福岡市	大学院生
佳作	静伝管のネットワーク	池田達(代表)池8名	東京都中央区	会社員
佳作	百鬼夜行	磯野健介	神奈川県藤沢市	大学生
佳作	土の迷路と土の塔	小高浩平	埼玉県飯能市	自営業
佳作	海上の森 里山博覧会	海上の森自然観察会 企画室 北岡由実子	愛知県瀬戸市	
佳作	ミスマシロボット&浮島(プランター) 浄化装置	白水良一(代表)池4名	愛知県春日井市	会社員
佳作	マジックビューアー	竹原正美(代表)池3名	大阪府大阪市	会社員
佳作	EXPO2005 REAL-TIME MAN-ECOLOGY INFORMATION EXCHANGES(リアルタイム 人間 エコロジー情報交換)	ASHER DERMAN (アッシャー・ダーマン)	アメリカニューヨーク州	
佳作	天水共創の里	東海水琴窟ネット 中野之也(代表)池2名	愛知県日進市	
佳作	EXPO2005「森の木々を介した ボランタリー博覧会」	中橋哲史(代表)池1名	東京都	大学院生
佳作	偶然の大地 seeds tickets	馬場正尊(代表)池2名	東京都目黒区	会社員

「一般の部」の最優秀賞は該当作品なし。

## 15歳以下の部 優秀賞



『2005年万博メモリアルウエディング』  
猪飼理恵さん  
(津島市立天王中学校)

なにかと無駄の多い結婚式。これはそんな無駄を一切省いた、新しい個性的な結婚式です。万博でしかできない、夫婦の個性あふれる結婚式。きっと一生の思い出に残ります。



『森の映画館』  
鬼頭麻衣子さん  
(豊田市立保見中学校)

自然豊かな場所に水や霧、煙などでスクリーンをつくり、お客さんに楽しんでもらう。内容も子供むけから芸術作品の有名場面などを工夫し、自然と一体となった映画館にする。



『森と話そう!』  
和田愛弓さん  
(豊田市立朝日丘中学校)

木に映像(顔の)を映し、声を流す。そして、環境問題などについて木が話してくれる。その他にも「木の伐採」などをテーマに「木」どうしがディベートを行う。

## 一般の部 優秀賞



『TEMPLE OF THE ELEMENTS (自然力の寺院)』  
VISHAL DARさん  
(ヴィシャル・ダールさん)

「自然力の寺院」は、あらゆる感覚や経験を一連のパビリオンに集約し、色彩・感触・形態を媒介として、自然を内省的に捉えた神聖な領域に導いてくれる。



『オニゴッコ』

萩原裕一さん

この計画は、あるゲーム「オニゴッコ」を通じて、森のイメージ=迷路性・奥深さを再構築し、小さな森に、大きな、新たなイメージを作り出そうという試みである。



『同時多発的博覧会』

ブルース・ボンチ 志賀壮史さん(代表) 中村敬さん

自然と人間の関わりの中に見出される英知を、世界各地の人々の営みの中から見出し、伝え、共有していくための場づくりの提案。

『委員からのメッセージ』と『EXPO2005クイズ』は休載しました。

発行 財団法人2005年日本国際博覧会協会 発行日 1999年(平成11年)10月15日 編集責任者 楠本 孝 部数150,000部  
名古屋事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目15-1 名古屋ダイヤビルディング2号館4階 TEL052-569-2005 FAX052-569-2100  
東京事務所 〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1-1 飯野ビル7階 TEL03-5521-1601 FAX03-5521-1607  
「EXPOの耳」あて先 インターネット・ホームページアドレス <http://www.expo2005.or.jp>  
ご意見をお待ちしております。 「EXPOの耳」Eメールアドレス [voicebox@expo2005.or.jp](mailto:voicebox@expo2005.or.jp)

博覧会協会が現在使用しているこのマークは、誘致の際に制作されたものです。

